

The 50th Anniversary

事業の概要

現在の役員と組織

役員

平成26年度〈平成26年度6月17日現在〉

理事 12名

理事長	村野 利昭	神戸村野工業高等学校 理事長
常務理事	一谷 宣宏	園田学園 理事長
理事	旭 次郎	玉田学園 理事長
理事	芦尾 長司	神戸山手学園 理事長
理事	大河原 量	武庫川学院 理事長
理事	片山 安孝	兵庫県企画県民部 管理局長
理事	川崎 紘平	松蔭女子学院 理事長
理事	清水 雅範	神戸市教育委員会事務局 総務部長
理事	角南 忠昭	須磨浦学園 理事長
理事	瀧川 泰久	前 瀧川学園 理事長
理事	森田 和子	海星女子学院 理事長
理事	安田 義秀	神戸商工会議所 常務理事・事務局長・総務部長

監事 2名

監事	山本 千恵	賢明女子学院 理事長
監事	櫻井 繁樹	税理士

組織

1. 会員 76名

正会員(53)	兵庫県内で小学校、中学校、高等学校を設置する学校法人で、協会の事業に賛同した者
特別会員(23)	兵庫県及び兵庫県内の地方公共団体で、協会の事業に賛同し入会した者

2. 役員

理事	10名以上13名以内（理事のうち1名を理事長、2名以内を常務理事とする）
監事	2名以内

3. 職員

事務長	1名	小山善三郎
書記	2名	主任 松原健一 中須賀孝子

<平成26年11月1日現在>

資金の造成

資金造成と貸付実績

兵庫県私学振興協会は、兵庫県下の私立小学校・中学校・高等学校を設置している学校法人に対し、施設設備の整備と経営の安定を図るため、低利の資金貸付を行ってきた。

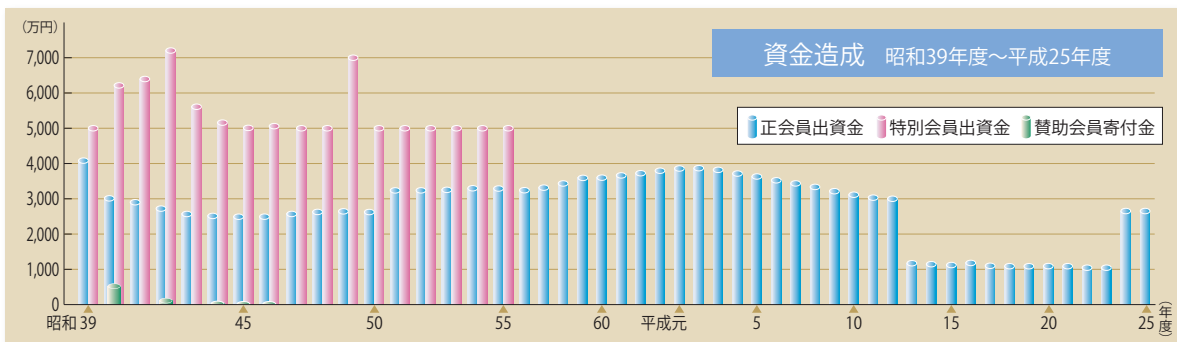
この貸付事業資金に充当するための資金造成については、当協会が設立された昭和39年度以降兵庫県や県下市町、財界等の支援を受け、設立要項に定めた新規造成10ヶ年計画に基づき進めてきた。しかし、設立当初は資金も少なく、生徒急増期には借入希望が多く資金も十分ではなかったため、兵庫県と神戸市からの借入金を加え貸付けを行ってきたところである。

昭和43年度からは毎年利息収入などからも積立金に組み入れが行われるようになり、加えて正会員の理解と協力により現在も継続して出資が行われているので、当協会の資金は着実に増加し充実してきた。

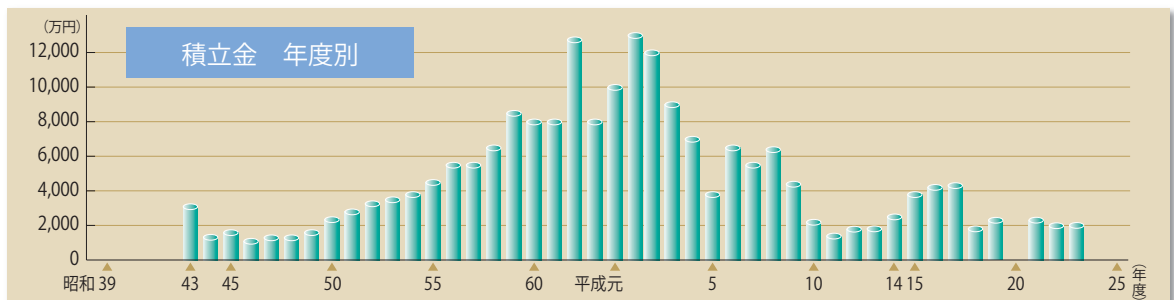
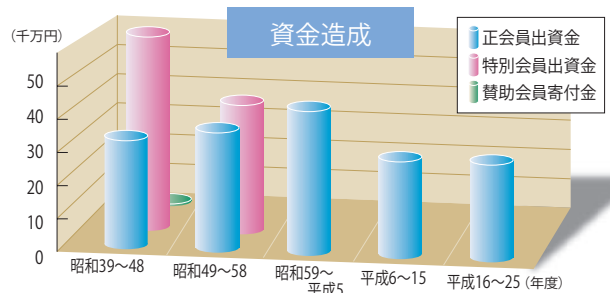
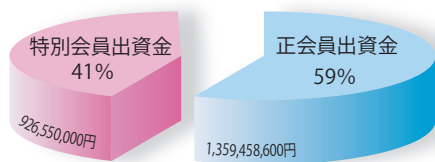
その実績をみると、平成25年度末現在、資金造成額は総額で42.7億円、うち出資金は22.9億円（その内訳は、正会員（学校法人）13.6億円で59%、特別会員（兵庫県及び関係市町）9.3億円で41%）、財界等寄付金は664万円、事業積立資産組入額は19.7億円となっている。

なお、特別会員の出資は昭和55年度で、財界等の寄付は昭和46年度で終わっており、それ以降は学校法人からの出資と事業収益からの組入れのみにより資金造成を行ってきた。

当協会の設立以来、平成25年度までの資金造成の実績は次のとおりである。



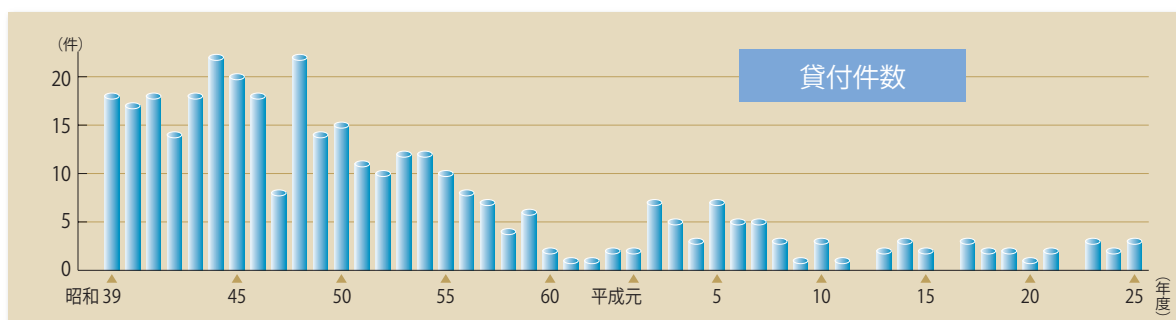
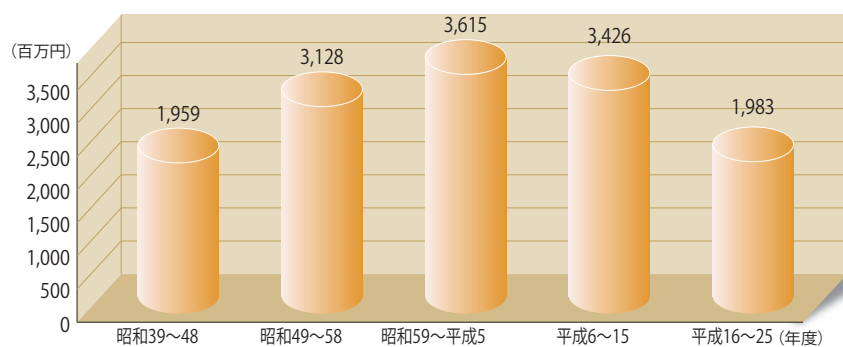
出資金(長期借入金)の割合 昭和39年度～平成25年度



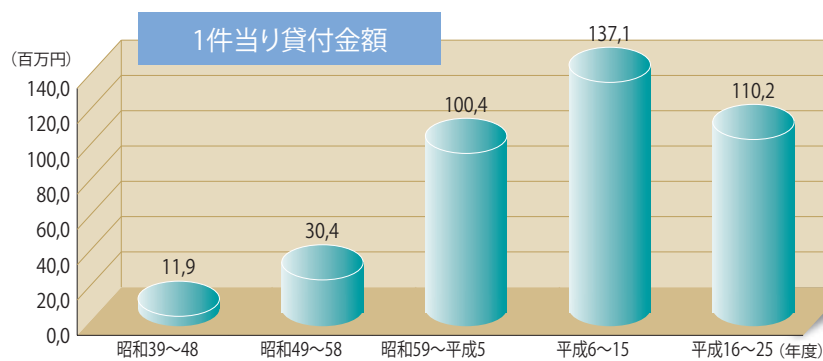
出資金に、既積立金を加えた総額42.7億円が施設設備整備資金等貸付けの資金となる。

施設設備整備資金等貸付

また、施設設備整備資金等貸付の年度毎の金額と件数の実績は次のとおりである。



施設設備整備資金等貸付の1件当たりの貸付金額は、当初1,000万円程度であったのが3,000万円、1億円、1.37億円、1.2億円と、年度の経過とともに大口の貸付案件へと変わってきた。



(注) 詳細の数は資料編に掲載

私学総連合会及び私立小学校・中学校・高等学校連合会への助成

私学総連合会への助成

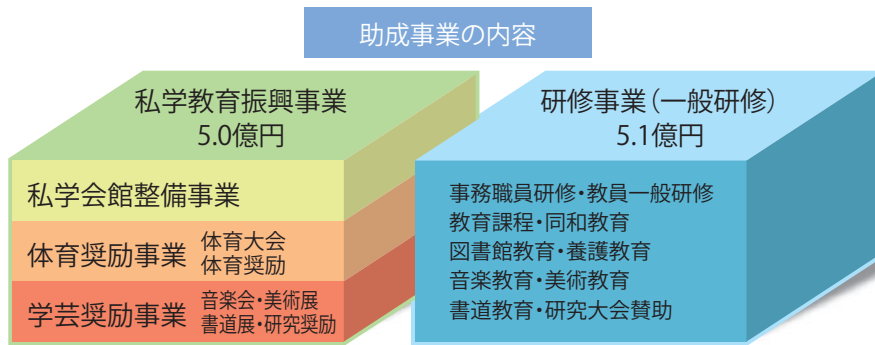
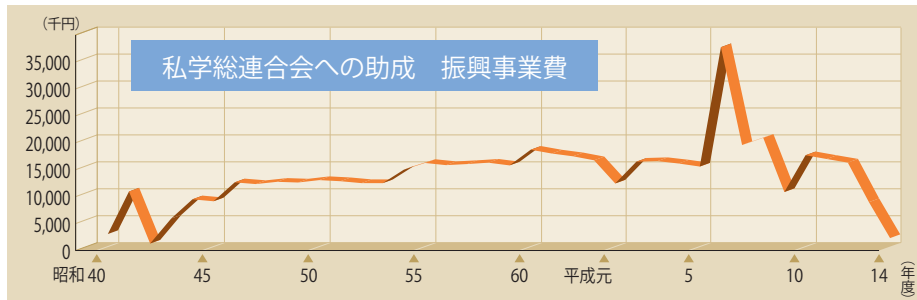
—昭和40年度から平成14年度まで総額10.1億円—

兵庫県私学振興協会の事業運営から生じる利息収入などの一部を、兵庫県私学総連合会が行う私学教育振興事業と研修事業に対し、その経費を助成してきた。

昭和40年度から助成を始め、平成14年度までの助成実績は総額で10.1億円であり、年度当たり26,500千円の助成を行い、私学振興のための広範囲にわたる支援を行ってきた。

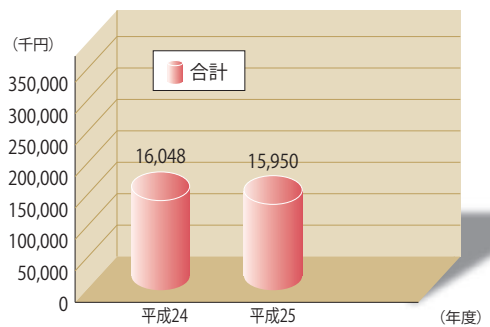
私学総連合会への助成を始めた最初の10年間は、年度当たり13,700千円であったものが、次の10年（昭和50～59年度）とその次の10年（昭和60～平成6年度）には、それぞれ年度当たり29,700千円、36,600千円と飛躍的に増加してきた。特に、平成6年度には例年の1.7倍もの57,900千円の支援を体育や学芸の奨励など私学振興事業を中心にを行い、私学振興協会としての大きな役割を果たした。

その後、平成7年度以降は制度の見直しを行ったので、年度当たり25,800千円となっている。



私立小学校・中学校・高等学校連合会への助成

平成24年度からは県内私立学校教職員で構成する各科目別研究会等が参加者を広く募集して実施する学術奨励研修、一般研修、小学校研修、中高研修事業に対し助成してきた。



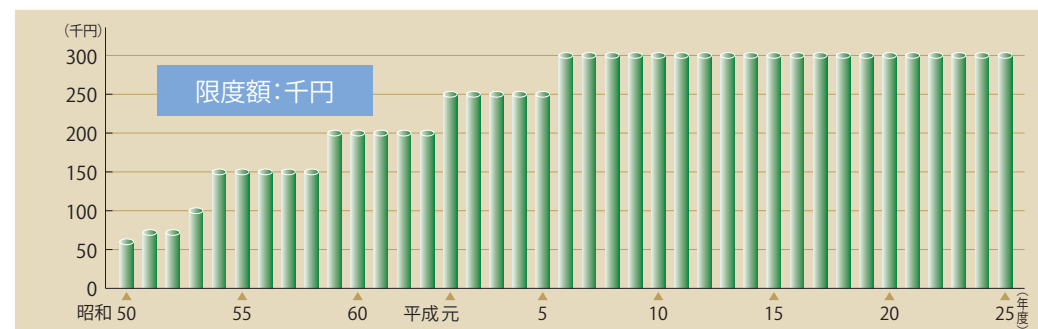
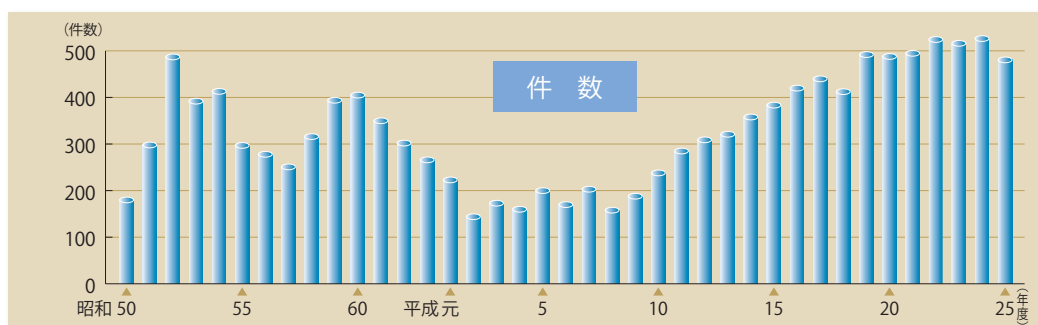
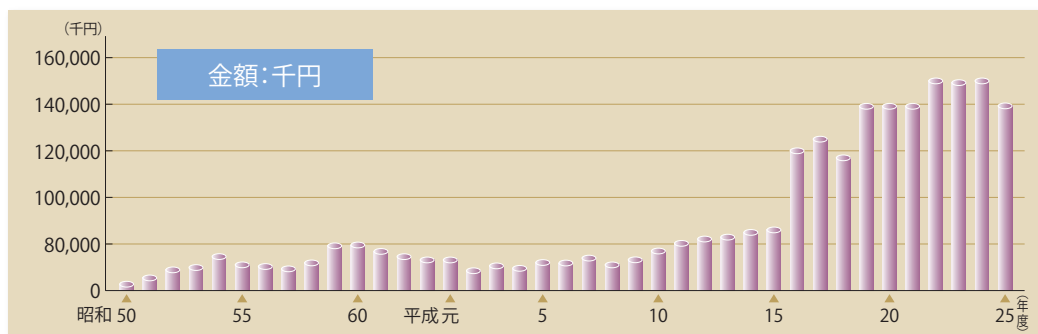
(注) 詳細の数は資料編に掲載

入学資金貸付・修学支援

入学資金貸付

兵庫県私学振興協会では兵庫県の委託を受けて昭和50年度から、私立高等学校（通信制課程を除き、私立高等専門学校を含む）へ入学する生徒の学資負担者に対し、入学時に必要な資金の貸し付けを行っている。

貸付金額は、生徒1人30万円以内で入学金、施設拡充費等の入学時の納付金が対象となり、授業料、教科書・制服・カバン代等は対象外としている。なお、貸付に当たっては無利息である。



(注) 詳細の数は資料編に掲載

修学支援

兵庫県が平成15年度から新たに設けた私立高等学校修学支援事業を兵庫県私学振興協会が受託し、これにかかる受け入れ体制の整備を行った。

●事業の概要●

経済的理由により修学が困難な生徒1人当たり年間18万円の奨学金を貸付けた私立高等学校に対し、利子補給を行う。